



## NPO法人ビッグイシュー基金 第3期(2009年9月～2010年8月) 年次報告書



2010年12月1日発行

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金

(大阪事務所) 〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目3-2堂北ビル4F  
TEL: 06-6345-1517 FAX: 06-6457-1358

(東京事務所) 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5  
シンカイビル201号室  
TEL: 03-6802-6073 FAX: 03-6802-6074

E-mail: [info@bigissue.or.jp](mailto:info@bigissue.or.jp)  
URL: <http://www.bigissue.or.jp>

# 理事長あいさつ

## はじめに——市民が当事者になる社会へ

あなたさまはじめ、みなさまとともに活動が続け、ビッグイシュー基金の3期目(09年9月～10年8月)の事業を終えることができました。

基金の3年目は政権交代で幕をあけました。2年目がリーマンショックでしたから、基金立ち上がりの3年は歴史的な激動とともにありました。

私たちの活動では、リーマンショックをはさむ2年間で、例えば、ビッグイシューの東京の販売者の平均年齢は56歳から45歳へと11歳も若くなりました。この現場での急激な変化を伝え、これを逆に社会再創造のきっかけにできないか、と考えながら若者ホームレスの聞き取り調査と支援方策の検討に全力をあげました。また、3年たった基金の使命の再確認と基本プログラムの見直しも行いました。

これまでビッグイシューは、会社では、「ホームレスに仕事を提供し、自立を応援する」ことを使命に自立の「チャンス」を提供する事業をしてきました。そして基金では、会社と両輪でさらに自立への道をすすむことができるよう、『セルフヘルプ』のサポート」を理念に、生活自立、就業、スポーツ・文化活動、の3つのコアプログラムのもと、会社と協力しながら、多様で多面的なセルフヘルプの場をつくってきました。

例えば、ホームレス会議、ホームレスサッカー、ホームレスバンド、ホームレスダンス、ホームレス写真展、ホームレス(路上)文学賞など、会社の方ではホームレス人生相談や、ホームレス川柳の出版、ホームレス共同経営店舗など、ホームレスの名を冠したさまざまな活動をおこなってきました。そして、ホームレス会議からは『路上脱出ガイド』が生まれ、ホームレスサッカーではワールドカップ2009年ミラノ大会に参加、ホームレスダンス「ソケリッサ」は5年間で劇場や路上において千人近い市民の人に見てもらうことができました。

これらの活動は、ホームレスの人々を表現や活動の当事者にするだけでなく、多くの市民のみなさまにも社会の当事者の一員として参加いただける場ともなったのではないかと思います。基金発足3年目にして、社会に働きかけたり市民の社会参加の機会を提供する「場」としての役割をはたすことも考えられるようになってきました。そこで、これをボランティア・市民の社会参加として基金の4つ目のコアプログラムとしました。

その結果もあり今期は、827人の賛助会員、大阪・東京の登録者561人と各地でのサポーターを合わせた約650人のボランティアの方々に参加いただき、個人、団体や企業などからのご寄付とご協力、さらに、多くの市民、団体のみなさまにもご参加いただきました。

みなさまに感謝し、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

NPO法人 ビッグイシュー基金  
理事長 佐野 章二



## 目次

|                  |    |
|------------------|----|
| 理事長あいさつ          | 2  |
| 目次・活動概要          | 3  |
| 生活自立応援事業         | 4  |
| 就業応援事業           | 6  |
| 文化・スポーツ活動応援事業    | 7  |
| ボランティア・市民の社会参加活動 | 8  |
| 決算報告             | 9  |
| ビッグイシュー基金とは      | 10 |
| 市民応援会員のご案内       | 11 |



## 第3期の活動報告

2年目のリーマンショック、3年目の政権交代、と基金の3年間は歴史的激動の只中にありました。私たちの活動でも、東京の販売者の平均年齢が2年間で11歳も若くなるかたちで現れました。この目に見えるホームレスの若年化を、日本社会の存亡、その根幹に関わる問題として、これに立ち向かうため、基金は多くの市民とともに、市民の誰もが当事者になり、再チャレンジしやすい社会を目ざし、提案と働きかけを行っていくことにし、以下の3点を重点事業としました。

- ①「若者ホームレス支援方策検討委員会」を基金の外部につくる  
宮本みち子さんを委員長に6月～11月まで開催。結果を若者ホームレス白書としてまとめ、社会にアピールすることにした。
- ②「路上脱出ガイド」を全国各地域版の作成、発行、配布を行う  
具体的には京都、札幌、名古屋、福岡で作成。  
大阪では改訂版12,000冊、東京では増刷し計21,000冊を発行した。
- ③第2期の増収分の社会還元としてビッグイシューファンドをつくる  
新宿、池袋などでの越冬カンパや「路上脱出ガイド」の全国各地版の印刷費等の費用などを負担。

また、社会問題の当事者になった人々が同時にその社会問題解決に担い手になることで問題の真の解決がはかれるというビッグイシューの考え方を具体化するホームレス会議やスポーツ・文化活動を展開しました。

「ホームレスワールドカップサッカー2009年ミラノ大会」(09年9月1日～7日)への参加、ダンスクラブの「ソケリッサ」の東京、大阪での劇場公演などです。

さらに、基金の使命を見直し、4つ目の基本プログラムとしてボランティア・市民の社会参加活動を付け加え、基金を一層社会に開かれた「場」としていくことを目指しました。この結果、賛助会員は827人と4%増え、会費額では1,764万円から2,050万円へと16%増となりました。ボランティアの参加では登録者数は東京 317人(前期126人)、大阪244人(159人)、計561人(285人)へと約2倍にも増え、各地のサポーターを合わせると合計650人の人々の参加となりました。

# 生活自立応援事業

路上で生活する人が生きるため、自立をするために役立つ情報をまとめた小冊子「路上脱出ガイド」を配布しました。そして、急激に増えつつある40歳未満の路上生活者が、路上にとどめ置かれることなく、社会に復帰する道筋を用意することを目指して、若年層のホームレスを対象とした調査を行いました。

また、健康、住宅、福祉などの各種相談業務も実施しました。

## 若者ホームレス調査

2008年秋の世界同時不況後の2009年春より、50歳未満、特に20代や30代のホームレス状態にある若者の販売者が東京事務所を中心に急増しています。そこで、2008年から行っている、ビッグイシュー販売者を対象としたヒアリング調査をさらに進め、ビッグイシュー販売者以外の20代～30代のホームレスの人にもヒアリングを行い、実態を把握するための調査を行いました。また、若者ホームレスの出口ともなる、若者支援の17団体に、その活動プログラムを中心に聞き取り調査を行いました。

その結果、いったん正社員に就きながらも低賃金重労働などにより派遣労働者へと移行したり、不況による雇用機会の減少、低学歴、頼れる家族がいないなど脆弱な家族関係など、若者ホームレスの背景にある構造的な問題が浮かび上がってきました。

この調査結果を元に、放送大学教授の宮本みち子さんを委員長とする若者ホームレス支援方策検討委員会を6月25日に立ち上げ、若者をホームレスにしない支援の方策を議論してきました。

これらの調査結果と議論は、小冊子「若者ホームレス白書」(1万冊)にまとめるとともに、次期の12月19日一般公開の報告会を開き、広く市民に配布していく予定です。

## 路上脱出ガイドの全国地域展開

昨年度に初版を発行以来、夜回り活動、支援団体や地域の市民の手を通して、本ガイドが当事者の手に渡されました。今期の配布数は、東京23区版が6,000部、大阪版(2010年2月に改訂版も発行)が8,500部でした。本ガイドでは、行政サービス、民間支援団体、炊き出し、体調が悪いときの相談窓口等、命をつなぐために必要な情報から、自立支援センターやハローワークなど、仕事に就くための情報、生活保護の申請方法等、様々な情報を集約して紹介しています。

今年度は『路上脱出ガイド』の全国展開を図り、現在までに、各地のサポート組織により、札幌、名古屋、京都、福岡で作成されました。



| もくじ                       |    |
|---------------------------|----|
| 1 食べるものがないとき              | 4  |
| 2 体調が悪いとき                 | 5  |
| 3 仕事を探したいとき               | 6  |
| ・現状に合わせて相談先を選んでみよう        |    |
| ・自立支援システムの活用について、利用者の体験談  |    |
| ・就職決定資金融資、23区内ハローワーク一覧    |    |
| ・TOKEYのチャレンジネットの活用について    |    |
| 4 今すぐ仕事をしたいとき             | 16 |
| ・ビッグイシューの活用について           |    |
| 5 生活保護の申請について             | 18 |
| ・生活保護に関する相談先              |    |
| 6 その他の相談をしたいとき            | 24 |
| ・法律相談が必要なとき               |    |
| ・あなたが女性の場合                |    |
| ・誰にも相談できないとき              |    |
| 7 23区福祉事務所 応急支援内容一覧       | 28 |
| ・各区が独自に行っているサービス一覧        |    |
| 8 民間で支援を行っている団体一覧         | 30 |
| ・炊き出しや健康相談、福祉行動などの活動内容の紹介 |    |
| 9 23区内福祉事務所一覧             | 37 |
| 3                         |    |

『路上脱出ガイド』東京23区編(左:表紙・右:もくじ)



## 相談プログラム

### 【健康相談】

大阪では、大阪府保険医協会の協力を得て毎月1回内科と歯科の健診を、東京では08年11月よりボランティア歯科医師の協力を得て3ヶ月に1度歯科健診を行いました。東京では大塚製薬の協力を得て熱中症予防講座を行いました。また、UBSグループからは医薬品、フードバンク関西とセカンドハーベストからは食品の提供を受け常時事務所に設置しています。日常生活において治療が必要な場合は、医療福祉の公的サービスを利用するためのサポートを行いました。

### 【結核診断】

大阪では、釜ヶ崎を中心に活動しているヘルスサポートセンターの協力により、販売者を中心とする結核検診を行いました。その他に、北区役所で行われている結核診断も利用し、結核検診を受けやすいような環境づくりを始めました。

### 【依存症的傾向のある人へのサポート】

大阪では不定期でカウンセラーが、アルコールやギャンブルの依存症的傾向に悩む人のカウンセリングを行いました。また、東京でも、必要に応じて、精神科を含む専門家のグループに委託してカウンセリングを実施できる体制を確保しました。また、当事者の希望を受けて現金を預かる、金銭管理サポートを行っています。過酷な路上生活において、アルコールやギャンブルは身近な楽しみである一方で、路上から脱出できない原因にもなります。現金を預かることにより、アルコールやギャンブルにストップをかけるきっかけになるよう働きかけています。

### 【住宅相談】

相談者が増えたことと、親身な対応や支援を得られる不動産屋や大家さんも増えたことから、今年度は20人がアパート入居を果たしました。独力でアパートを探すことが難しいこと、都市部では低価格の物件を探すことが難しいこと、そしてアパート入居後に孤立感を覚え精神的に不安定になる人いることなど、住宅相談には各段階の支援が必要であり、個々のケースに応じて対応しました。

### 【福祉相談】

『路上脱出ガイド』の配布後、今年度も福祉相談は増えました。相談者は、大阪で6人、東京で26人。多くは、生活保護の申請に関する相談で、必要に応じて他の支援団体を紹介したり、申請に同行するなどをしました。

## つながり回復プログラム

### 【夜回り】

多くの市民ボランティアとともに定期的に夜回りを実施しました。食料やカイロ、路上脱出ガイドや各種プログラムのビラを手渡し、困ったことや不安なことがないかを、聞いて回りました。

### 【道端交流会】

大阪では、ホームレスの人たちが集う場所に出向き、映画鑑賞会などを行い、気軽に集える交流会を実施しました。ここでのつながりがきっかけとなり、サッカーに参加するようになった人や、畳の上に上がった人もいました。

### 【定例サロン】

ホームレスの人々とボランティアが交流したり、情報交換を行う定例サロンを、大阪・東京ともに毎月1回行いました。新年パーティーや、亡くなったホームレスの方の追悼会、お花見、熱中症対策講座、農業体験(東京)、カウンセリング講座、クリスマス会などを実施しました。

### 【大阪ホームレス会議】

09年11月、ホームレスの人々の思いを発信するためのイベント「ホームレス会議」を市民も含む240人の参加のもと、大阪の阪急グランドビルで行いました。今回は増えつつある若者ホームレスをテーマに話し合いました。第1部では、大阪と東京の若者ホームレス6名による議論、作家の雨宮処凛さんと、釜ヶ崎支援機構の事務局長沖野さん、理事長の佐野による鼎談を行いました。第2部では、全体で意見交換と議論を進めながら若年化するホームレスについて話し合いました。

### 【金銭管理】

貯金を希望するホームレスの方たちからお金を預かり、個別の通帳をつくって金銭管理のサポートをしました。大阪では25人が、東京では30人が利用しています。また、より気軽に貯金できるようにお釣貯金を提案したりしました。また、販売者間に見られるお金の貸し借りをしないように呼びかけました。

### 【ビッグイシューファンド】

前期の余剰金を活かすため、新宿、池袋の越冬炊出しへのカンパや、路上脱出ガイドの全国各地版の印刷費を負担しました。

# 就業応援事業

ビジネスマナーやコミュニケーション力、ITスキルなど、基礎的な就労トレーニングをベースに、農業や林業研修など多様な仕事経験の場を提供しました。将来設計を手助けするパーソナルコーチングなど、出口を意識したプログラムを実験的にを行い、今後さらに踏み込んだ就労支援を行っていくための土台を築くことができました。就職の斡旋は行っていないが、大阪で4人、東京で8人が就職し、6人にアルバイトを紹介しました。

## 【IT研修講座】

東京では2010年5月から8月までの13週にわたり、NEC、品川ITサポーターズ、企画室円、株式会社教育と探求者、大島祐美子さん、株式会社エンパブリックの協力を得て、IT-CONNECTION講座を13回にわたって行いました。今回の講座ではITスキルを身につけるだけでなく、ITを使って「自分とつながる」と「人とつながる」ことに重点をおき、過去の経験を文章にした「私の履歴書」の発表や「キャッチコピーづくりグループワーク」などを実施しました。全講座終了後には、多くの受講者が自身のブログをつくり、日常をつづるなど自発的にITを使って自己表現をしています。

また大阪ではボランティアの協力を得て、月に2度のパソコン講習を行い、ワードやエクセルなどを使う技術を身につけました。

## 【就業応援事業】

ビジネスマナーやコミュニケーション力、ITスキルなど、基礎的な就労トレーニングをベースに、就業体験&多様な仕事経験の場を提供しました。また、将来の目標や生きがいがあるこその就業との考えから、コーチングの専門家と連携した目標作りをしました。



【IT講座】



【ビッグイシューパーティーにて】

## 【店舗販売体験】

代々木公園「東京朝市」に出店。企画から販売までを体験しました。

## 【農業研修体験】

10年1月鴨川自然公園で農業体験、地域との交流を行いました。サロンの一環で行いましたが17名の参加がありました。

## 【サービス業(ウェイター)研修】

東京・青山のモードポリティカで開かれた基金2周年、会社7周年記念パーティーでドアマン、接客サービスなどを実際に分担し、研修しました。

## 【パーソナルコーチング】

パーソナルコーチングは、“コーチ”と呼ばれる専門家と1対1でじっくり会話する時間を定期的にもち、未来の目標を自分自身で見つけ、実現していく手助けをするものです。大阪では33名が、東京では26名がコーチングに参加しました。参加者へのアンケートでは、半数以上が「将来のことを考えられるようになった」と答えています。路上生活をしていると目標を定めても達成することが難しいですが、コーチにゆっくりと話を聞いてもらい自ら思っていることや目標を話すことで、現状を打破する人も出てきています。

## 【ヘアカット】

身だしなみを整え、自信をもつことも、自立に向けた大切な一歩です。大阪、東京それぞれで、プロの美容師のご協力を得て、ほぼ毎月、無料のヘアカットを行いました。

## 【イメージアップ講座】

コミュニケーション能力アップを目的に、自分に合う色を見つけ、寄付された衣服を活用し、ファッションショーを行いました。



【ヘアークット】



【マナー研修】

# 文化・スポーツ活動応援事業

仕事と家の喪失に加え、「人とのつながりや絆」を失うことで、人は希望を失い、ホープレスになりホームレスになります。自分を肯定して、人とのつながりや生きる喜びを回復する機会として、スポーツ、ダンス、音楽、アートなどの様々なクラブ活動を実施しました。

## 【OHBB(大阪ホームレスビッグバンド)】

大阪のビッグイシュー販売者らが中心となって行う音楽クラブ「OHBB(大阪ホームレスビッグバンド)」のサポートをしています。曲は当事者が作詞したものに、スタッフやボランティアがメロディーをつけたもので、現在11曲のオリジナル曲があります。毎月2回練習を行い、クリスマスパーティーや京都のロータリークラブ主催のビッグイシューサポートライブ、四條畷市の人権啓発イベント等でライブ演奏をしました。現在は、販売者さん一人ひとりが楽器を担当し、文字通りメンバー中心に演奏できるよう練習しています。

## 【コンテンポラリーダンス“ソケリッサ”】

ストレッチやコンテンポラリーダンスなど、身体を使った表現活動を楽しむクラブ。プロのダンサーアオキ裕キさんらの協力を得て、「ソケリッサ」と題した公演を行っています。今期は、野外の井の頭公園でも路上パフォーマンスを行っています。木漏れ日が入る森の中で、木の葉の絨毯を踏みしめるパフォーマンスは、ダンスの原点をより強く感じさせるものとなりました。8月15日には東京で3回目の劇場公演を実施し、昼夜2回ともほぼ満席となりました。

## 【アートクラブ】

3月の定例サロンでの紹介を経て、東京事務所では5月に「アートクラブ」を発足、その後月に一度のペースで活動を行っています。今年度は、モニターシート、紙芝居、ロボット作り、アート発見遠足等、「アート」を通して皆で共に楽しめる活動や空間を提供しています。今後も、より多くの人が気軽に参加して楽しめるように、室内だけのアート活動にとどまらず、より多様な活動に幅を広げていこうと計画しています。

## 【その他】

販売者が企画し、市民とともに大阪の街を歩く「歩こう会」など多くの人が気軽に参加できるような、多様なクラブ活動を行いました。また、作家の星野智幸さんと写真家高松英昭さん主催による路上文学賞を実施、販売者さんに詩や小説を投稿してもらいました。路上経験がにじみ出た作品ばかりで、メディアにも取り上げられ、投稿者も自分を振り返る機会になりました。

## 【フットサル】

2009年9月にミラノで開かれた「ホームレス・ワールドカップ」に、東京から3人、大阪より5人の合計8人が参加しました(野武士ジャパン)。「ホームレス・ワールドカップ」は、世界に共通する貧困問題の解決を訴え、同時に貧困状態にある人たちが喜びや希望を回復することを目指して行われているストリートサッカー大会のことです。日本チームの最終成績は2勝11敗48位(48位は規定により失格)と実質的には最下位でしたが、Gさんがフェアプレイ賞を受賞しました。

帰国後、ワールドカップに参加した3人がサッカーをきっかけに就職自立を果たすなど、サッカーを通じて得たつながりや意欲がその後の生活の励みになっています。また、ミラノからの帰国後も月に2度の練習に加え、リクルーターズカップ(チャリティフットサル大会)への参加やbloomberg、ゴールドマン・サックス証券、明治大学の学生、香港出身の帰国子女フットサルチームとの練習試合を行いました。そして2010年からはサッカーの輪をビッグイシュー以外のホームレス支援団体にも広げようと、ホームレス支援団体・新宿連絡会と連携したサッカーイベントやNPO法人自立生活サポートセンターもやい、大阪では個人のサッカーチームとの練習試合など、サッカーを通じての輪が広がりつつあります。



【アートクラブ】



【ホームレスワールドカップ】

# ボランティア・市民の社会参加活動

“貧困”の最も顕著な現れともいえるホームレス問題は、当事者や支援団体、行政だけでなく、社会全体で取り組むことではじめて、解決に向けて動き出すのではないのでしょうか。排除するのではなく包摂する社会を、ともにつくってきたい。ビッグイシュー基金は、「市民が市民をサポート」することをモットーに、市民応援会員やボランティアスタッフなどを中心に、日頃から多くの市民のみなさまの協力を得て、活動しています。いま、「ホームレス問題」を市民自身のものとする動きも生まれつつあります。

## 【ボランティア参加者】

夜回りへの同行や医療相談、パソコン講座の講師、事務所内での作業などそれぞれの専門を生かし、多様で個性豊かなボランティアスタッフが、日常の活動を支えてくださっています。2010年8月現在のボランティア登録者数は、大阪が244人、東京が317人の計561人になりました。東京大阪以外の地域での販売者のサポートをしている各地のサポーターを入れると約650人にもなります。前期の約2倍のご参加をいただきました。

## 【各地のサポーター組織】

- ・ビッグイシューさっぽろ URL: <http://bisapporo.blog71.fr2.com/>
- ・仙台ビッグイシューソサイエティ Tel:022-719-9117
- ・特定非営利法人仙台夜回りグループ URL: <http://www.yomawari.net/>
- ・特定非営利法人さなぎ達(横浜市) URL: <http://www.sanagitachi.com>
- ・金沢サポーター 担当:安川 Tel:090-9446-2441
- ・ビッグイシュー名古屋ネット URL:<http://d.hatena.ne.jp/bigissuenagoya/>
- ・ビッグイシュー広島販売支援 E-mail: [mcxmg898@yahoo.co.jp](mailto:mcxmg898@yahoo.co.jp)
- ・ビッグイシュー福岡サポーターズ E-mail: [chiiki@fukuoka-shakyoku.or.jp](mailto:chiiki@fukuoka-shakyoku.or.jp)
- ・ビッグイシューかごしまサポーターズ 担当:野口 090-5489-4806

## 【ビッグイシュー基金市民応援会員】

ビッグイシュー基金の賛助会員や個人寄付者として、活動を支えてくださっている方々はあわせて950人となりました。心から感謝します。ありがとうございました。

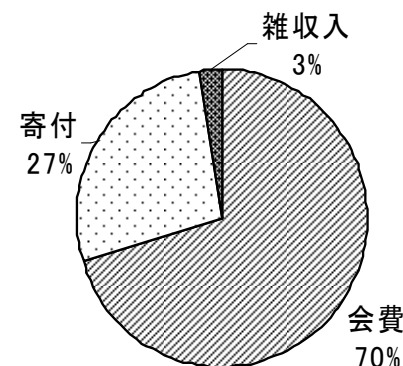
## 賛助会員数(2010年8月現在) 827人

- ◇あか抜け応援会員……………48人
- ◇ぐつすり 応援会員……………185人
- ◇にっこり応援会員……………418人
- ◇ひとり立ち応援会員……………144人
- ◇巣立ち応援会員……………32人
- ◇キャリア再形成・サポーター会員…2団体
- ◇社会再生・サポーター会員…3団体

※会員以外の個人寄付者数123人

## 【企業・団体寄付】

KEEN Japan  
Give One (オンライン寄付サイト)  
株式会社北大路書房  
共同カイテック株式会社  
クレディ・スイス  
ゴールドマン・サックス証券株式会社  
株式会社トラベルアイ  
UBSグループ  
(UBS証券会社、UBS銀行東京支店、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社)  
The Recruiter's Cup 2009



## 【物資の寄付】

KEEN Japan(くつ、サンダル)/認定NPO法人フードバンク関西・NPO法人セカンドハーベストジャパン(食料品)/UBS証券会社(医薬品・食品・衣類など)/NPO法人「さをりひろば」(マフラー)/アメリカンエクスプレス(ポロシャツ)/パルブレッド(パン)/大塚製薬(ポカリスエット)/日本郵船(水)/NEC(カロリーメイト)/Dole Japan(果物)/キャベ焼グループ(食料、衣料品)/ヤマキユウ花かつお(食品)

その他、衣類やテレホンカードなどを中心に、多くの物資をご寄付いただきました。ありがとうございました。



# 2009年度決算報告

【収支計算書 2009年9月1日～2010年8月31日】

| 科目                   | 金額(単位:円)   |             |
|----------------------|------------|-------------|
| I 経常収入の部             |            |             |
| 1. 会費収入              |            |             |
| 年会費                  | 20,495,600 | 20,495,600  |
| 2. 助成金・補助金収入         |            |             |
| 助成金 補助金              | 0          | 0           |
| 3. その他収入             |            |             |
| 寄付金                  | 7,875,741  |             |
| 受取利息                 | 1,672      |             |
| 雑収入                  | 742,155    | 8,619,568   |
| 経常収入 計               |            | 29,115,168  |
| II 経常支出の部            |            |             |
| 1. 事業費               |            |             |
| 生活自立応援費              | 8,842,082  |             |
| 就業応援費                | 1,309,271  |             |
| スポーツ・文化応援費           | 3,038,822  |             |
| 広報活動費                | 3,895,073  |             |
| 会報費(年24回の基金便り、会報の雑誌) | 3,513,840  |             |
| その他                  | 823,039    | 21,422,127  |
| 2. 管理費               |            |             |
| 家賃(光熱費含)             | 3,232,019  |             |
| 事務費(人件費)             | 2,961,991  |             |
| 通信費                  | 530,485    |             |
| 荷造り運賃費               | 1,283,275  |             |
| 事務消耗品費               | 301,081    |             |
| 旅費交通費                | 1,771,807  |             |
| 総会理事運営費              | 296,728    |             |
| 雑費                   | 532,822    | 10,910,208  |
| 経常支出 計               |            | 32,332,335  |
| 経常収支差額               |            | △ 3,217,167 |
| 当期収支差額               |            | △ 3,217,167 |
| 前期繰越収支差額             |            | 4,127,457   |
| 次期繰越収支差額             |            | 910,290     |

【貸借対照表 2010年8月31日現在】

| 科目         | 金額(単位:円)  |             |           |
|------------|-----------|-------------|-----------|
| I 資産の部     |           |             |           |
| 1. 流動資産    |           |             |           |
| 現金         | 163,753   |             |           |
| 普通預金       | 2,348,220 |             |           |
| 販売者預り金特定預金 | 2,270,685 | 4,782,658   |           |
| 2. 固定資産    |           |             |           |
|            |           | 0           |           |
| 資産合計       |           |             | 4,782,658 |
| II 負債の部    |           |             |           |
| 1. 流動負債    |           |             |           |
| 仮受金        | 1,602,368 |             |           |
| 預り金        | 2,270,000 | 3,872,368   |           |
| 負債合計       |           |             | 3,872,368 |
| III 正味財産の部 |           |             |           |
| 前期繰越正味財産   |           | 4,127,457   |           |
| 当期正味財産     |           |             |           |
| 増加額(減少額)   |           | △ 3,217,167 |           |
| 正味財産合計     |           |             | 910,290   |
| 負債及び正味財産合計 |           |             | 4,782,658 |

## 監査報告

### 1 監査の方法の概要

業務執行については、代表理事等から、現在会員数、活動内容等を聴取し、財産の状況については、損益計算書、貸借対照表の開示及び説明を受けました。他方、適宜、総勘定元帳、入金伝票、領収書、通帳の写し、郵便振替票等につき検討を加えました。

### 2 監査の結果

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金の業務報告及び決算報告について、2009(平成21)年9月1日から2010(平成22)年8月31日までの監査を行った結果、客観的資料にもとづき明瞭かつ正確であって、適法であることを認めます。

なお、業務または財産に関して、指摘すべき、不正の行為または法令、定款違反の重大事実はありません。

2010(平成22)年10月27日

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金監事

木原万樹



# ビッグイシュー基金とは

## ビッグイシュー基金とは ——

ビッグイシュー基金は、有限会社ビッグイシュー日本(※)を母体に07年9月に設立した、ホームレスの人々の自立を応援する非営利団体です。

生活自立、就業、文化・スポーツ、市民の社会参加活動などの多様な応援プログラムを、市民とともに実施し、貧困問題という氷山の頂点にあるホームレス問題の解決に挑戦する、“再チャレンジ”市民応援事業を行います。

## ビッグイシュー基金が目指すもの ——

今、40歳未満の若者ホームレスが、急激に増えつつあります。社会の未来を担っていくべき若者たちがいとも簡単に路上に投げ出され、放置されています。若者を使い捨て、希望を奪うような社会に、未来はあるのでしょうか。

現状のままでは、若者という社会の未来の担い手が経験を積み、活動の場が奪われることで、社会の持続が不可能になります。

また、ホームレスやワーキングプア、これらの人々を放置することでまず困るのは当事者の人々ですが、本当に困るのは実は“社会自身”なのではないでしょうか。その社会自身が問題に立ち向かったり、問題を解決する力が弱くなり、社会のつながりや連帯が失われることにつながり、社会自体が弱くなるからです。

ビッグイシュー基金は、生活自立、就業、文化・スポーツ、市民の社会参加の4つの活動を通して、路上生活者であっても、自立を望めば誰もがその機会を持つ当事者になれる、生きる喜びや誇り、希望を持って生きられる社会をつくりたい。そして、社会全体がいきいきとした力をとり戻すことに、ホームレスの人々とともに貢献したいと願っています。

ホームレス問題は、今、あなたのすぐ隣で起きている出来事です。ホームレスという人種はどこにもいません。ホームレス状態におかれている人がいるだけなのです。“無関心”であることから一歩踏み出して、まずは路上で暮らす「人生をあきらめない」人たちの声に、耳を傾けてみてください。

## 団体概要

- ☐ 正式名称 特定非営利活動法人ビッグイシュー基金
- ☐ 設 立 2007年9月設立  
※2008年4月内閣府よりNPO法人の認証を受ける
- ☐ 所 在 地 [事務局本部]  
〒530-0003大阪市北区堂島2丁目3-2堂北ビル4階  
Tel 06-6345-1517 Fax 06-6457-1358  
E-mail info@bigissue.or.jp  
[東京事務所]  
〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5シンカイビル201号室  
Tel 03-6802-6073 Fax 03-6802-6074
- ☐ 役 員 理事長 佐野 章二 (有限会社ビッグイシュー日本代表)  
理 事 井上 英之 (慶應義塾大学専任講師)  
枝元 なほみ (料理研究家)  
米本 昌平 (東京大学特任教授)  
水越 洋子 (『ビッグイシュー日本版』編集長)  
監 事 木原 万樹子 (弁護士)  
相談役 雨宮 処凛 (作家)  
松繁 逸夫 (釜ヶ崎資料センター主宰)

## ※ 有限会社ビッグイシュー日本とは？



ビッグイシュー日本は、「ホームレスの人々の救済ではなく仕事を提供する」ことを目的に活動している有限会社です。ホームレスの人々の自助・自立を促すために路上で雑誌を販売してもらい、その売上の50%以上を彼らの収入にするという仕組みをつくっています。

03年9月から10年8月までの7年間で1145人が販売者に登録し、134人が仕事を心得て自立しました。また、累計420万冊を販売、5億5,784万円の収入をホームレスの人たちに提供してきました。09年9月から10年8月までの1年間では、146人が販売者に登録、27人が自立しました。

# ビッグイシュー基金では、活動を継続的に支援して下さる応援会員を募集しています

## 市民応援会員



**あか抜け応援(学生)会員 年会費:2,500円**

【特典】会員バッジ

『ビッグイシュー日本版』最新号1冊の贈呈  
年次報告書(年1回)の送付



**ぐっすり応援会員 年会費:5,000円**

【特典】会員バッジ

『ビッグイシュー日本版』最新号1冊の贈呈  
年次報告書(年1回)の送付



**にっこり応援会員 年会費:15,000円**

【特典】ぐっすり応援会員の特典に加えて

雑誌最新号にお名前を掲載  
会報として『ビッグイシュー日本版』1冊1年分の送付



**ひとり立ち応援会員 年会費:50,000円**

【特典】にっこり応援会員の特典に加えて

雑誌に1年間お名前を掲載  
ビッグイシュー基金パーティにペアでご招待(年1回)



**巣立ち応援会員 年会費:100,000円**

【特典】ひとり立ち応援会員の特典に加えて

ビッグイシューバックナンバー合本(非売品)の贈呈

「にっこり会員」・「ひとり立ち会員」・「巣立ち会員」につきましては、ご家族やご友人への記念日やお誕生日のプレゼントとしてお申込みいただける、「プレゼント会員制度」を設けております。プレゼント会員制度をご利用いただいた場合、会費はお申込み者ご本人にご負担いただき、その会員の特典がご家族やご友人にプレゼントされます。プレゼントされる方には、その旨カードを添えてお伝えします。プレゼント制度のご利用を希望される方は、お電話06-6345-1517またはメールinfo@bigissue.or.jpにてご連絡ください。

## 企業・団体「社会再生」サポーター

**キャリア再形成・サポーター会員 年会費:250,000円**

【特典】雑誌に1年間貴社名を掲載、会報として『ビッグイシュー日本版』1冊

1年分の送付、ビッグイシューバックナンバー合本(非売品)の贈呈、年次報告書の送付(年1回)、ビッグイシュー基金パーティにペアでご招待(1回)、ビッグイシュー定例サロンの見学

**社会復帰・サポーター会員 年会費:500,000円**

【特典】キャリア再形成・サポーター会員の特典に加えて貴社の社員研修会の販売者やスタッフの講師派遣(年1回)社員研修の一貫として、販売者の指導による1日街角販売体験(道端留学)、ビッグイシュー基金のホームページに貴社名を掲載

**社会再生・サポーター会員 年会費:1,000,000円**

【特典】社会復帰・サポーター会員の特典に加えて、販売者参加のイベント(ダンス公演・コンサート・サッカー)のうちご希望の1つに協賛企業として貴社名を掲載

### 《お申込み》

ホームページよりオンラインでご登録いただけます。

(<http://www.bigissue.or.jp>→応援するには?→会員になる→市民応援会員登録フォーム)または、郵送でお申込み用紙をお送りすることもできますので、送付先のご住所とお電話番号をお知らせください。お申込用紙は、〒530-0003大阪市北区堂島2丁目3-2堂北ビル4FまたはFAX 06-6457-1358までお送りください。

お申込み後は、恐れ入りますが会費のご入金をお願いいたします。

ご入金が確認されました時点で、郵送にて特典一式を送らせていただきます。なお、ご入金の際の名義は、お申込みの際の名義と同じものをご入力いただきますようお願い申し上げます。

### 【郵便振替】

口座番号:00960-6-141876 口座名義:NPO法人ビッグイシュー基金

※銀行をご希望の場合は、大阪事務所(06-6345-1517)までお問い合わせ下さい。